

平成 27 年度
健康増進法に基づくがん検診の
対象人口率等調査報告書
(概要版)

平成 28 年 3 月

東京都福祉保健局

I 調査の概要

1 調査の目的

健康増進法に基づく健康診査及びがん検診の対象となる人口を正確に把握するため、労働安全衛生法に基づき実施されている健康診査等を含めた都民全体の受診状況を調査することにより、健康診査及びがん検診を効果的・効率的に推進することを目的としている。

2 調査設計

- (1) 調査対象：平成27年3月31日現在において、都全域（島しょを除く。）に住む満20歳以上の女性及び満40歳以上の男性 5,000人
- (2) 調査方法：調査員による訪問留置・訪問回収法
- (3) 調査期間：平成27年10月15日～11月15日

3 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）3,058 標本（61.2%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,942 標本（38.8%）

4 標本構成

回答者の性・年齢階級別構成は表1のとおりである。性別・年齢構成ともに前回調査と同じ傾向である。

（表1）性・年齢階級別構成

区分	合計	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7
		0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5
		2	2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7
		4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	5
		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳以上
男性	1,157 37.8	-	-	-	-	141	123	114	114	151	210	122	182
女性	1,901 62.2	63	117	149	165	186	169	154	127	173	191	157	250
計	3,058 100.0	63	117	149	165	327	292	268	241	324	401	279	432
		2.1	3.8	4.9	5.4	10.7	9.5	8.8	7.9	10.6	13.1	9.1	14.1

II 対象人口率の推計

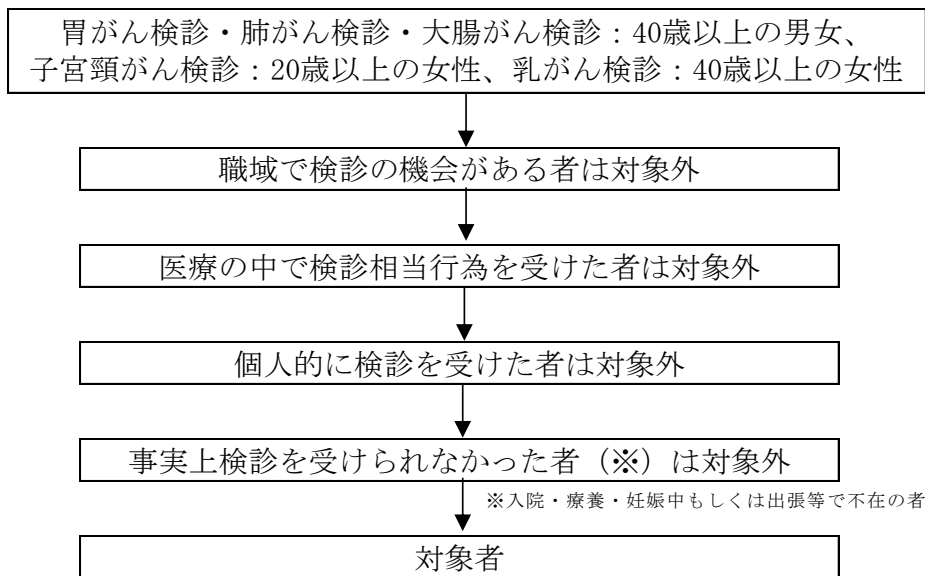
1 対象人口率の考え方

昭和 57 年 8 月に老人保健法が制定され、区市町村では、老人保健法に基づいて、健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業が実施されてきた。この中で、健康診査の対象人口は、事業開始時、正確には把握されなかったため、都では国が便宜的に予算上使用していた健康保険被保険率を用いていた。しかし、この数値は、東京都においては、他地域と比較して勤労者が多い、医療機関が多いなどの点から、実態とはかい離していることが考えられた。そこで、正確に対象人口を把握し、健康診査事業を効果的・効率的に推進していくため、都では昭和 60 年度に地域住民を対象とした健康診査の受診動向等の調査を実施し、対象人口率を求めた。

この調査は、人口の高齢化、健康診査及びがん検診の実施状況等により変化することから、その後 5 年に 1 回、調査を実施し、都民の健康診査・がん検診の受診状況を把握するとともに対象人口率を求めている。

平成 20 年 4 月から、医療制度改革の一環として、「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法」への改正に伴い、医療保険者が実施主体となる「特定健診・特定保健指導」事業がスタートした。「特定健診・特定保健指導」事業では、医療保険者ごとに対象者（母数）が明確になるため、前回（平成 22 年度）の調査から各がん検診の対象人口率のみを求めている。

【参考】対象者と非対象者の振り分けの考え方



2 東京都の対象人口率

東京都（区部・市町村部（島しょ部を除く））の対象人口率の推計結果は、以下の表2に示したとおりである。

前回調査の対象人口率と比較すると、東京都全体で、いずれのがん検診も低下しており、特に乳がん検診で顕著である。ただし、区部の子宮頸がん検診の対象人口率は唯一上昇している。

（表2）東京都の対象人口率

		胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
東京都	回答者数	2,564	2,564	2,564	1,901	1,407
	無回答者数	357	385	387	181	199
	N	2,207	2,179	2,177	1,720	1,208
	対象者数	1,268	1,412	1,335	1,104	791
	対象人口率	57.5%	64.8%	61.3%	64.2%	65.5%
	前回対象人口率	59.6%	65.9%	64.9%	64.8%	72.6%
区部	回答者数	1,663	1,663	1,663	1,233	918
	無回答者数	248	268	255	127	134
	n	1,415	1,395	1,408	1,106	784
	対象者数	823	914	877	733	520
	対象人口率	58.2%	65.5%	62.3%	66.3%	66.3%
	前回対象人口率	60.5%	66.6%	66.3%	63.7%	72.3%
市町村部 (島しょ部除く)	回答者数	901	901	901	668	489
	無回答者数	109	117	132	54	65
	n	792	784	769	614	424
	対象者数	445	498	458	371	271
	対象人口率	56.2%	63.5%	59.6%	60.4%	63.9%
	前回対象人口率	57.8%	64.5%	62.0%	67.1%	73.1%

(※) 基数(n)は、各がん検診の「職域でがん検診の機会があるか」「医療の中でがん検診相当行為を受けたか」「個人的にがん検診を受けたか」の3つの質問すべてに回答があるサンプルである。この3つの質問のいずれかが無回答であるサンプルは、対応するがん検診について集計の対象外とした。

Ⅲ がん検診の受診状況

1 都民のがん検診の受診状況

(1) 都民のがん検診の受診率

都民のがん検診の受診率は、以下の表3-1、図1に示した。前回調査のがん検診受診率と比較すると、すべてのがん検診において受診率が向上し、大腸がん検診は受診率4割を超え、他の受診率は3割台となっている。

また胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診の受診率を男女別にみた結果を、以下の表3-2で示した。

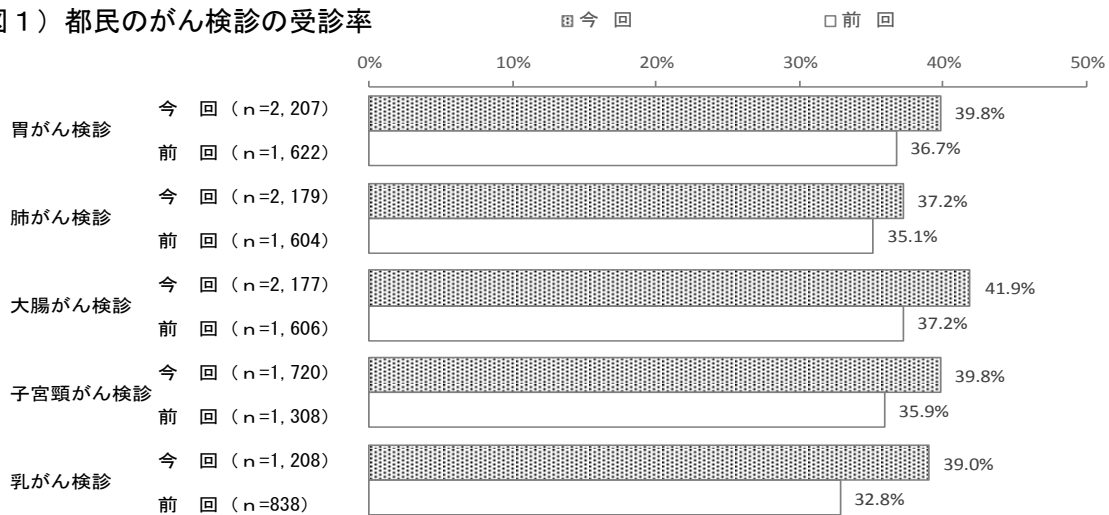
男性の受診率は、いずれの検診でも4割以上となっている。女性の受診率は、いずれも3割台であるが、大腸がん検診はほぼ4割に達している。

(表3-1) 都民のがん検診の受診率

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
n	2,207	2,179	2,177	1,720	1,208
受診者数	878	811	912	685	471
受診率	39.8%	37.2%	41.9%	39.8%	39.0%
前回受診率	36.7%	35.1%	37.2%	35.9%	32.8%

(※) 基数(n)は、各がん検診の「職域でがん検診の機会があるか」「医療の中でがん検診相当行為を受けたか」「個人的にがん検診を受けたか」の3つの質問すべてに回答があるサンプルである。この3つの質問のいずれかが無回答であるサンプルは、対応するがん検診について集計の対象外とした。

(図1) 都民のがん検診の受診率



(表3-2) 都民の胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診の男女別受診率

	胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
n	988	1,219	979	1,200	976	1,201
受診者数	448	430	413	398	436	476
受診率	45.3%	35.3%	42.2%	33.2%	44.7%	39.6%

(2) 受診したがん検診の実施主体

がん検診をどこで受診したかについて、以下の表4、図2で示した。

胃がん検診では、職域の検診（41.2%）と医療の中での検診相当行為（40.3%）が4割台、個人的な検診（36.3%）が3割台となっている。

肺がん検診では、職域の検診（47.6%）が他の実施主体と比べて特になくなってきている。

大腸がん検診では、職域の検診（40.0%）が4割台で他の実施主体と比べて多く、区市町村実施の検診（37.4%）、個人的な検診（36.4%）が3割台となっている。

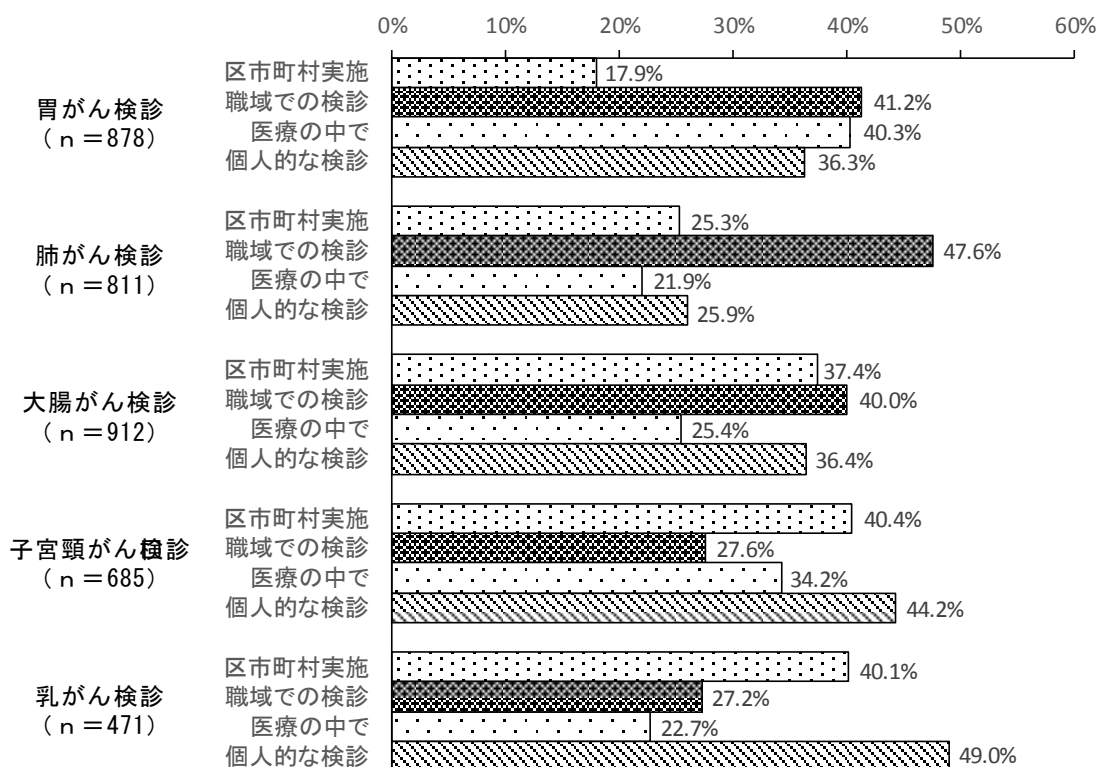
子宮頸がん検診では、個人的な検診（44.2%）と区市町村実施の検診（40.4%）がともに4割台で他の実施主体と比べ多くなっている。

乳がん検診では、個人的な検診（49.0%）と区市町村実施の検診（40.1%）がともに4割台で他の実施主体と比べ多くなっている。

(表4) 受診したがん検診の実施主体（上段：回答者数（人）、下段：比率） *重複回答あり

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
n（受診者数）	878	811	912	685	471
区市町村実施の検診	157 17.9%	205 25.3%	341 37.4%	277 40.4%	189 40.1%
職域の検診	362 41.2%	386 47.6%	365 40.0%	189 27.6%	128 27.2%
医療の中での検診相当行為	354 40.3%	178 21.9%	232 25.4%	234 34.2%	107 22.7%
個人的な検診	319 36.3%	210 25.9%	332 36.4%	303 44.2%	231 49.0%

(図2) 受診したがん検診の実施主体



(3) がん検診を受診した理由 (各検診ごとに複数回答)

がん検診を受診した理由について、以下の表5で示した。

各検診ともに「年齢的に検診の対象だったから」と「職場の検診内容にあったから」の2項目が多くなっている。特に「年齢的に検診の対象だったから」は子宮頸がん検診(40.1%)と乳がん検診(43.5%)で多くなっている。

また、大腸がん検診と乳がん検診では、「区市町村の検診内容にあったから」という理由も多くみられた。

(表5) がん検診を受診した理由 (上段: 回答者数(人)、下段: 比率(%))

選択肢	n	年齢的に検診の対象だったから	気になる症状があったから	職場の検診内容にあったから	区市町村の検診内容にあったから	検診のお知らせが来たから	家族友人等に受診を勧められたから	かかりつけ医で受診できたから	勤務時間中に受けられたから	検診を勧める情報を見聞きしたから	担当が同性の医師だったから	自宅や職場の近くで受診できたから	夜間や休日に受診できたから	最新鋭の設備が整っているから	費用が安かったから	無料クーポン券が届いたから	その他	無回答
胃がん検診	878	236 26.9	124 14.1	282 32.1	91 10.4	69 7.9	26 3.0	75 8.5	43 4.9	14 1.6	- -	49 5.6	2 0.2	19 2.2	37 4.2		54 6.2	162 18.5
肺がん検診	811	188 23.2	29 3.6	325 40.1	141 17.4	79 9.7	8 1.0	62 7.6	39 4.8	12 1.5	1 0.1	40 4.9	3 0.4	9 1.1	30 3.7		34 4.2	159 19.6
大腸がん検診	912	259 28.4	79 8.7	293 32.1	207 22.7	114 12.5	19 2.1	86 9.4	38 4.2	26 2.9	- -	57 6.3	1 0.1	13 1.4	38 4.2	16 1.8	47 5.2	94 10.3
子宮頸がん検診	685	275 40.1	87 12.7	155 22.6	117 17.1	132 19.3	22 3.2	57 8.3	25 3.6	43 6.3	16 2.3	51 7.4	2 0.3	6 0.9	35 5.1	73 10.7	63 9.2	71 10.4
乳がん検診	471	205 43.5	46 9.8	117 24.8	101 21.4	87 18.5	22 4.7	29 6.2	18 3.8	31 6.6	11 2.3	34 7.2	1 0.2	6 1.3	31 6.6	29 6.2	44 9.3	35 7.4

(注)「無料クーポン券が届いたから」は、大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診のみで加えた選択肢である。また、下段は%であるが、表示スペースの関係で%表示は割愛した。

(4) がん検診を受診しなかった理由

がん検診を受診しなかった理由について、以下の表6を示した。

子宮頸がん検診を除いた各検診では、「健康に自信があるから」が第1位、「受ける時間がなかったから」が第2位となっている。子宮頸がん検診のみ、「受ける時間がなかったから」が第1位、「健康に自信があるから」が第2位となっており、他と傾向を異にする。他の選択肢については各検診でほぼ同じ傾向になっているが、「日時・場所を知らないから」に関しては子宮頸がん検診と乳がん検診がやや低くなっているのが目につく。

(表6) がん検診を受診しなかった理由 (上段：回答者数 (人)、下段：比率)

選択肢		入院中、 自宅療養中、 妊娠中 だったから	旅行・出張等 で留守にしたから	受ける時間 がなかったから	健康に自信 があるから	悪いといわ れるのが怖いから	検診の場所 が身近にないから	日時・場所 を知らないから	恥ずかしいから	その他	無回答
検診種別	n										
胃がん検診	1,329	39 2.9%	8 0.6%	276 20.8%	365 27.5%	61 4.6%	24 1.8%	140 10.5%		329 24.8%	87 6.5%
肺がん検診	1,368	41 3.0%	5 0.4%	277 20.2%	382 27.9%	47 3.4%	29 2.1%	178 13.0%		338 24.7%	71 5.2%
大腸がん検診	1,265	43 3.4%	4 0.3%	292 23.1%	324 25.6%	57 4.5%	24 1.9%	131 10.4%		315 24.9%	75 5.9%
子宮頸がん検診	1,035	26 2.5%	4 0.4%	253 24.4%	204 19.7%	35 3.4%	31 3.0%	66 6.4%	44 4.3%	298 28.8%	74 7.1%
乳がん検診	737	28 3.8%	2 0.3%	168 22.8%	179 24.3%	41 5.6%	18 2.4%	41 5.6%	11 1.5%	209 28.4%	40 5.4%

(注)「恥ずかしいから」は、子宮頸がん検診と乳がん検診のみで加えた選択肢である。